

教育現場における個人の尊重について



日本共産党
伊藤 広美 議員



質問 学校の細かなルールは子どものためではなく学校側の都合を優先したものではないかとの声があるが、学校現場で児童・生徒の意思決定や自己決定権など、個人の尊重はどのように行われているのか伺う。

教育長 教育委員会では児童・生徒が自発的、主体的に自らを発達さ

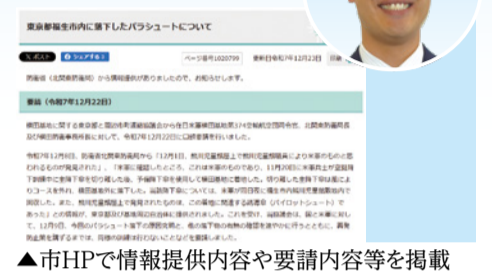
せていくことを尊重し、その過程を学校や教職員が支える発達支持的生徒指導の考え方を基盤とし、児童・生徒の意思決定や自己決定の場の創出に取り組むよう学校を指導している。例えば、福生第一中学校では生徒の意見を取り入れ学校生活をより良くすることを目的に目安箱の名称

で意見箱を設置し、校則や生活の決まりについて生徒会役員が中心となって協議できる体制が整っている。今後とも個人の尊重と集団の一員としてのルールやマナー等秩序を守ることとの両立を図りながら、発達支持的な視点に基づく生徒指導を一層推進するよう校長を指導していく。

米軍横田基地について



日本共産党
市毛 雅大 議員



質問 東京都福生市内に落下したパラシュートについて、事案の内容と市の対応について伺う。

市長 昨年12月1日の午後1時30分頃、児童館職員より屋上点検において米軍のものと思われるものを発見したと市役所に連絡があった。同日市職員が現地で聞き取りを行い、

人的・物的被害はないことを確認し当該物を回収。北関東防衛局を通じ米軍へ照会をしたところ、当該物は11月20日に米軍兵士の空挺降下訓練中に横田基地の外に落下したものであることが分かった。子どもが集う児童館の敷地内で発生した人命に関わりかねない大変重大な事故であり、

事故発生に関する情報が米軍側から一切提供されないまま秘匿されていたこと、許可なく市公共施設の敷地内に侵入していたことに極めて遺憾である旨を示し、市民の安全・安心を守る立場から事故の発生及びこれまでの周辺自治体からの要請に対する対応を市長として強く抗議した。

▲市HPで情報提供内容や要請内容等を掲載

介護保険サービスの現状と対策について



スポーツ文化を通じて人づくりと街づくりの会
幡垣 正生 議員



質問 本市が介護保険サービスの運営について気をつけていること、ニーズに応えるための施策を伺う。

市長 令和6年3月に福生市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(第9期)を策定し、住み慣れた地域で安心して心豊かに生活するための高齢者福祉の充実と介護保険制度の推

進に取り組んでいる。地域で支え合う介護の実現のために、サービス事業者への支援及び指導を行うなど一人一人の状況に合った適切な介護サービスを選択できるよう受給環境の整備に努めている。また、介護人材の不足が全国的な課題となる中、介護人材の確保、定着と併せて介護現

場の生産性向上を重要課題として認識している。市内介護サービス事業所の職員等に対する研修や資格取得の費用補助により安定した介護サービスの提供体制を確保し、ICT機器導入費用等の補助を通じて事業所間の情報共有の改善を図り、介護サービスの質の向上につなげている。

黒字廃業を阻止するための「地域内・事業承継(第三者承継)」マッチング支援の創設について



日本維新の会
西尾 壽々斗 議員



質問 後継者不在等で廃業せざるを得ない経営者と創業希望者をつなぎ事業を継続することは人口減少時代に即した政策と考える。事業承継マッチング支援の仕組みづくり等について市の見解を伺う。

市長 これまでも事業承継・引継ぎ支援センター等の関係機関との連

携や福生・昭島地域の未来をつなぐ協議会で事業者支援に取り組んできたが、愛されてきた店を引き継ぐためにはマッチングして店を譲るだけでなく、積み重ねてきた歴史や技術などの継承に年単位の時間が必要なのが課題で、事業承継するための人件費捻出も小規模店舗では難しい

状況である。また、市内店舗の多くは店舗兼住宅であり建物の構造も大きな障壁となっている。現時点で事業承継に特化した制度はないが、今後福生市商工会が実施予定の加盟店の経営状況や後継者問題に焦点を当てた調査結果等を踏まえ、施策の方向性について判断していきたい。

児童・生徒一人ひとりに寄り添った学びの機会について



生活者ネットワーク
三原 智子 議員



質問 児童・生徒一人ひとりに寄り添った学びの機会を確保するために福生市教育支援委員会の役割等がとて大切と考えるが、設置目的や考え方、現在の体制について伺う。

教育長 福生市教育支援委員会は、障害による特性があり個別の教育的支援を必要とする児童・生徒にとつ

て最適な就学先を決定することを目的に年間を通じて設置。一人ひとりの能力や特性、保護者の願いを臨床心理士等が十分に把握したうえで、教育・医療・心理の専門家の意見を踏まえ都立特別支援学校、市内小・中学校の特別支援学級や特別支援教室等、最もふさわしい教育環境を選

定し就学先として決定している。現在、医師や特別支援教育に関する学識経験者、特別支援学級設置校の校長等42名の委員で組織している。市教育委員会では、教育支援委員会の決定について児童・生徒と保護者に対し丁寧に情報提供し真に必要な支援等について合意形成を図っている。

ご利用ください 市議会インターネット中継



パソコンのほか、スマートフォン、タブレット端末でも視聴できます。議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけます。ぜひご利用ください。

- ◆配信内容 本会議のライブ映像と録画映像
- ◆利用方法 福生市公式ホームページ「福生市議会」よりアクセス



福生市議会
インターネット
中継

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「福生いとでんわ」により、市議会だよりの音訳をデジタイズ方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。ご家族やお知り合いで、希望される方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

議会事務局 ☎042-551-1523

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。

ケーブルテレビによる議会中継

多摩ケーブルネットワークでも本会議の生中継を放映します。ぜひご覧ください。